

平成 25 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1 集落協定の概要

都道府県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：上怒和集落

交付金額：5, 0 3 2 千円

協定参加世帯数：3 7 人（うち漁業世帯 3 7 人）

2 協定締結の経緯

上怒和集落は、良好な漁場を有し、一本釣り漁業、刺し網漁業が盛んな一方、現在はアワビの養殖も行われており、漁業は島の基幹産業となっている。しかし近年は、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、離島の漁業集落を取り組む環境は、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、漁場環境の保全、沿岸漁業資源の保護、ひじき養殖業の導入などの取組により、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・クロアワビ 2, 800 個とキジハタ 2, 500 尾を放流し資源の増大を図った。
- ・ヒジキブロックを設置した箇所の子育状況の調査を行った。（年間 1 回）
- ・アオリイカの産卵場を整備し資源増大を図った。（年間 1 回）
- ・海域環境の保全のために、松の管理及び草刈りを実施した。（年間 2 回）
- ・集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 2 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視を行った。（年間 8 回）

②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・集落の所得向上や島の PR を図るため、水産物の簡易加工に取り組み、こうした加工品と鮮魚等をイベントで販売した。
- ・ヒジキの養殖に取り組み漁家所得の向上を図った。

4 取組の成果

- ・植樹した松を維持管理することで海域環境の改善が期待された。

- ・海岸清掃を実施することにより、自然環境の保全が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・簡易加工した水産物を販売することで漁家所得の向上が図られた。

種苗放流	植樹・魚付林の整備
	
海岸清掃	漁場監視
	
ヒジキの養殖	水産物加工品のイベント販売
	